



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フォーバル
 コード番号 8275 URL <https://www.forval.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中島 将典
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 加藤 康二 TEL 03-3498-1541
 四半期報告書提出予定日 2019年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|-----|-------|-----|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年3月期第3四半期 | 41,026 | 9.6 | 1,839 | 7.1 | 1,894 | 6.2 | 1,154 | 14.4 |
| 2018年3月期第3四半期 | 37,416 | 1.3 | 1,717 | 6.5 | 1,784 | 7.3 | 1,009 | 3.5 |

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 1,330百万円 (14.1%) 2018年3月期第3四半期 1,165百万円 (△11.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期第3四半期 | 46.01 | 46.01 |
| 2018年3月期第3四半期 | 39.58 | 39.58 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|---------------|--------|--|--------|--|--------|--|
| | 百万円 | | 百万円 | | % | |
| 2019年3月期第3四半期 | 29,215 | | 10,659 | | 33.1 | |
| 2018年3月期 | 24,979 | | 9,909 | | 35.8 | |

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,674百万円 2018年3月期 8,949百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2018年3月期 | — | 0.00 | — | 21.00 | 21.00 |
| 2019年3月期 | — | 0.00 | — | | |
| 2019年3月期（予想） | | | | 22.00 | 22.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 53,000 | 3.2 | 3,000 | 5.1 | 3,100 | 4.7 | 1,830 | 4.9 | 73.00 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2019年3月期3Q | 27,732,622株 | 2018年3月期 | 27,732,622株 |
| ② 期末自己株式数 | 2019年3月期3Q | 2,634,451株 | 2018年3月期 | 2,663,450株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2019年3月期3Q | 25,084,139株 | 2018年3月期3Q | 25,494,948株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（日付の表示変更について）

第1四半期連結会計期間より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、相次ぐ自然災害に見舞われながらも海外経済の緩やかな成長を受けて輸出の増加基調が続き、企業収益や雇用・所得環境の改善を受けて設備投資や個人消費も底堅く推移しました。一方で米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題など不確実性も増しています。

また、当社グループの事業領域である情報通信分野においては、クラウドやビッグデータ、IoT関連などのサービスが拡大するとともに、AIを活用したサービスの開発が加速しています。

このような経営環境下、当社グループは「次世代経営コンサルタント」として企業経営を支援する集団となり、中小・中堅企業の利益に貢献することを目指し、「情報通信の知識・技術を駆使した経営コンサルティングサービス（情報通信分野）」、「海外マーケットを独自ノウハウで取り込む経営コンサルティングサービス（海外分野）」、「環境に配慮した最先端の経営コンサルティングサービス（環境分野）」、「次世代経営に必要な人材を育てる経営コンサルティングサービス（人材・教育分野）」の4分野において他社との差別化を図り、質の高いサービスを提供するためにM&Aも活用しながら事業の拡大に取り組んでいます。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の経営成績は以下のようになりました。

売上高は前年同期に比べ3,610百万円増加し、41,026百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

利益面では売上総利益が前年同期に比べ1,305百万円増加（前年同期比10.8%増）したものの、前年同期に比べ販売費及び一般管理費が人件費等の増加により1,183百万円増加（前年同期比11.4%増）した結果、営業利益は1,839百万円（前年同期比7.1%増）、経常利益は1,894百万円（前年同期比6.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,154百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<フォーバルビジネスグループ>

「アイコンサービス」やサーバー、セキュリティ関連の販売が好調に推移したほか、(株)第一工芸社を2018年10月に子会社化した影響もあり売上高は14,700百万円（前年同期比7.9%増）となりました。一方で人件費等の増加の影響でセグメント利益は1,162百万円（前年同期比0.4%減）となりました。

<フォーバルテレコムビジネスグループ>

光回線サービスやISPが順調に拡大した結果、売上高は13,000百万円（前年同期比17.6%増）、セグメント利益は556百万円（前年同期比35.1%増）となりました。

<モバイルショップビジネスグループ>

携帯販売台数が前年同期比6.7%減となったものの単価の高いスマートフォンの比率が高まった結果、売上高は8,375百万円（前年同期比3.5%増）となりました。一方で人件費や販促費等の増加の影響で、セグメント利益は30百万円（前年同期比76.6%減）となりました。

<総合環境コンサルティングビジネスグループ>

再生可能エネルギー特別措置法（FIT法）改正の影響を受け産業用太陽光システムの販売が減少したものの、住宅用太陽光システムやオール電化製品等の販売が増加した結果、売上高は4,062百万円（前年同期比6.0%増）、セグメント利益は61百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

<その他事業グループ>

セミナー関連が好調に推移した結果、売上高は887百万円（前年同期比9.8%増）、改訂版の発行に伴う旧刊の廃棄損等の影響で、セグメント利益は44百万円（前年同期比23.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,235百万円増加し29,215百万円となりました。これは主として連結子会社(株)フォーバルテレコムにおいて前払費用もしくは長期前払費用として計上している代理店へのインセンティブの支払いが増加したこと、第3四半期連結会計期間末日である12月末日が金融機関休業日となり回収が翌月となったため未収入金が大きく増加したこと、及びこれらの必要資金に対して金融機関より借入を行ったことに加えて2018年10月に(株)第一工芸社を子会社化したことに起因しています。

流動資産は20,941百万円となり、前連結会計年度末比2,352百万円の増加となりました。これは主として未収入金が1,086百万円、前払費用が536百万円、現金及び預金が381百万円増加したことによるものです。

固定資産は8,274百万円となり、前連結会計年度末比1,882百万円の増加となりました。これは主として(株)第一工芸社の子会社化等により有形固定資産が251百万円、保険代理店事業の譲受け等により無形固定資産が223百万円、長期前払費用の増加により投資その他の資産が1,407百万円増加したことによるものです。

流動負債は15,766百万円となり、前連結会計年度末比3,239百万円の増加となりました。これは主として短期借入金が3,300百万円、未払金が462百万円増加したのに対し、未払法人税等が490百万円減少したことによるものです。

固定負債は2,788百万円となり、前連結会計年度末比245百万円の増加となりました。これは主として退職給付に係る負債が120百万円、長期借入金が89百万円増加したことによるものです。

純資産は10,659百万円となり、前連結会計年度末比750百万円の増加となりました。これは主として株主資本が親会社株主に帰属する四半期純利益1,154百万円に対し剰余金の配当が526百万円あったこと等により645百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績は現時点で概ね想定した範囲内で推移しており、2018年5月11日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

なお、2018年10月18日に公表しました『「連結子会社の異動及び特別利益の計上に関するお知らせ」の中止に関するお知らせ』に記載のとおり、連結子会社の(株)リンクアップは2018年10月18日付開催の臨時株主総会において自己株式の取得に関する議案を付議することを予定しておりましたが、同日中止をしております。この自己株式の取得が実施された場合には連結業績に影響する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,443,011 | 7,824,142 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,326,775 | 6,259,054 |
| 商品及び製品 | 1,131,908 | 1,187,373 |
| 仕掛品 | 47,129 | 280,079 |
| 原材料及び貯蔵品 | 151,631 | 289,904 |
| 未収入金 | 1,974,939 | 3,061,104 |
| その他 | 1,623,228 | 2,295,721 |
| 貸倒引当金 | △110,404 | △256,364 |
| 流動資産合計 | 18,588,218 | 20,941,015 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 514,712 | 766,347 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 437,755 | 618,068 |
| その他 | 610,858 | 654,518 |
| 無形固定資産合計 | 1,048,614 | 1,272,586 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,659,564 | 1,820,594 |
| 繰延税金資産 | 1,242,850 | 1,219,102 |
| その他 | 2,369,159 | 3,618,193 |
| 貸倒引当金 | △443,701 | △422,802 |
| 投資その他の資産合計 | 4,827,873 | 6,235,088 |
| 固定資産合計 | 6,391,200 | 8,274,022 |
| 資産合計 | 24,979,419 | 29,215,038 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 5,522,968 | 5,796,674 |
| 短期借入金 | 1,566,551 | 4,867,028 |
| 未払金 | 2,328,129 | 2,790,723 |
| 未払法人税等 | 671,307 | 180,832 |
| 賞与引当金 | 689,943 | 583,671 |
| 役員賞与引当金 | 175,608 | 151,978 |
| 返品調整引当金 | 12,613 | 9,229 |
| その他 | 1,559,267 | 1,385,968 |
| 流動負債合計 | 12,526,390 | 15,766,106 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 210,000 | 299,248 |
| 退職給付に係る負債 | 2,264,824 | 2,384,875 |
| 持分法適用に伴う負債 | 11,892 | 16,345 |
| その他 | 57,248 | 88,505 |
| 固定負債合計 | 2,543,965 | 2,788,975 |
| 負債合計 | 15,070,355 | 18,555,082 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 4,150,294 | 4,150,294 |
| 資本剰余金 | 2,289,498 | 2,299,043 |
| 利益剰余金 | 3,600,191 | 4,227,954 |
| 自己株式 | △1,572,959 | △1,555,833 |
| 株主資本合計 | 8,467,025 | 9,121,458 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 584,576 | 631,372 |
| 為替換算調整勘定 | △26,543 | △20,867 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △75,176 | △57,122 |
| その他の包括利益累計額合計 | 482,856 | 553,382 |
| 新株予約権 | 40,815 | 50,541 |
| 非支配株主持分 | 918,366 | 934,573 |
| 純資産合計 | 9,909,063 | 10,659,956 |
| 負債純資産合計 | 24,979,419 | 29,215,038 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 37,416,363 | 41,026,704 |
| 売上原価 | 25,357,688 | 27,662,061 |
| 売上総利益 | 12,058,675 | 13,364,643 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,341,602 | 11,525,126 |
| 営業利益 | 1,717,072 | 1,839,516 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5,020 | 5,693 |
| 受取配当金 | 17,130 | 17,620 |
| その他 | 161,865 | 103,944 |
| 営業外収益合計 | 184,016 | 127,258 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,550 | 16,600 |
| 貸倒引当金繰入額 | 67,255 | 25,636 |
| 持分法による投資損失 | 34,439 | - |
| その他 | 6,189 | 29,612 |
| 営業外費用合計 | 116,434 | 71,849 |
| 経常利益 | 1,784,654 | 1,894,925 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 17 |
| 投資有価証券売却益 | 4,385 | - |
| 特別利益合計 | 4,386 | 17 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 2,558 | 5,162 |
| 投資有価証券評価損 | 2,800 | 13,118 |
| 減損損失 | 113 | - |
| その他 | 136 | - |
| 特別損失合計 | 5,608 | 18,280 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,783,432 | 1,876,662 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 619,426 | 552,117 |
| 法人税等調整額 | 36,306 | 64,603 |
| 法人税等合計 | 655,733 | 616,720 |
| 四半期純利益 | 1,127,699 | 1,259,941 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 118,660 | 105,726 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,009,038 | 1,154,215 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,127,699 | 1,259,941 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 18,853 | 46,795 |
| 退職給付に係る調整額 | 18,022 | 18,054 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 1,132 | 5,676 |
| その他の包括利益合計 | 38,007 | 70,526 |
| 四半期包括利益 | 1,165,707 | 1,330,468 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,047,046 | 1,224,741 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 118,660 | 105,726 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|------------|------------|------------|
| | フォーバル ビジネス グループ | フォーバル テレコム ビジネス グループ | モバイル ショップ ビジネス グループ | 総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 13,626,990 | 11,055,748 | 8,091,292 | 3,834,034 | 36,608,065 | 808,298 | 37,416,363 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 409,049 | 437,064 | 13,606 | 51,938 | 911,658 | 27,172 | 938,830 |
| 計 | 14,036,039 | 11,492,813 | 8,104,898 | 3,885,973 | 37,519,724 | 835,470 | 38,355,194 |
| セグメント利益又は損 失(△) | 1,166,182 | 412,380 | 132,469 | △12,860 | 1,698,172 | 58,462 | 1,756,635 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,698,172 |
| 「その他」の区分の利益 | 58,462 |
| セグメント間取引消去 | 3,392 |
| のれんの償却額 | △42,954 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,717,072 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、遊休資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては113千円であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、当社連結子会社の㈱保険ステーションは、㈱リバストコーポレーションからの事業譲受により、のれんが372,329千円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) | 合計 |
|-----------------------|-----------------------|-------------------------------|------------------------------|--------------------------------------|------------|------------|------------|
| | フォーバル ビジネス グループ | フォーバル テレコム ビジネス グループ | モバイル ショップ ビジネス グループ | 総合環境 コンサル ティング ビジネス グループ | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,700,470 | 13,000,020 | 8,375,812 | 4,062,711 | 40,139,013 | 887,690 | 41,026,704 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 384,928 | 368,788 | 15,378 | 41,395 | 810,491 | 40,491 | 850,982 |
| 計 | 15,085,399 | 13,368,808 | 8,391,190 | 4,104,106 | 40,949,504 | 928,182 | 41,877,686 |
| セグメント利益 | 1,162,051 | 556,973 | 30,956 | 61,307 | 1,811,289 | 44,549 | 1,855,838 |

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、技術者派遣事業及びIT教育サービス事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-----------|
| 報告セグメント計 | 1,811,289 |
| 「その他」の区分の利益 | 44,549 |
| セグメント間取引消去 | 1,597 |
| のれんの償却額 | △17,919 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,839,516 |

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「フォーバルビジネスグループ」セグメントにおいて、(株)第一工芸社の株式を取得し、同社を当社の連結子会社としたことにより、のれんが53,064千円増加しております。なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算出された金額であります。

「フォーバルテレコムビジネスグループ」セグメントにおいて、当社連結子会社の(株)保険ステーションは、(株)Eternal Best Partnerからの事業譲受により、のれんが198,159千円増加しております。